



(旧中津東高校舎)

# ベストフレンズ

## 箭山会福岡支部

支部長 大木 敦夫

事務局：〒813-0001  
福岡市東区唐原3-9-28城戸崎宅  
TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫

### ■ 第43回福岡支部総会開く

箭山会として、最後の第43回福岡支部総会は、平成22年5月22日(土)ソラリア西鉄ホテルで開催され、中津の本部より吉村名誉顧問(中津商業校長)、合林顧問、松永会長をはじめ、新生中津東高校の立石校長、如水会本部小野会長、大坂福岡支部長他、多数の来賓の方々並びに福岡支部会員のご出席を頂き和やかな歓談の内に終了致しました。

次回からは、中津東高等学校同窓会として開催の予定で如水会福岡支部と統合について協議致しております。

箭山会福岡支部としては、商・工一体となった新しい同窓会として再出発したいと考えておりますが、如水会の都合も

あり、場合によっては新生中津東高等学校同窓会としての開催が遅れる可能性があります。

福岡支部情報誌「ベストフレンズ」の発行も早いもので10号を迎えました。多方面からの寄稿を頂きありがとうございました。

福岡支部の平成22年度の活動状況は別紙の通りですが、特に一泊二日の雲仙旅行には北九州支部・中津本部会員の方々も参加いただき楽しさ満点の行事となりました。

世代を超えた同窓会の集りは楽しいものです。福岡支部の会員の皆様多数のご参加をお待ちしております。



福岡支部長  
大木敦夫(43回生)



### ■ 箭山会福岡支部の平成22年度の活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
22年5月22日	第43回箭山会福岡支部総会	ソラリア西鉄ホテル	51名参加
9月25日	北九州支部総会	このみ倶楽部	福岡支部より6名参加
10月15日	第24回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC	11名参加
10月1~2日	雲仙・島原一泊旅行	みかどホテル	22名(本部・北九州含)
11月20日	箭山会本部総会(本部・支部合同会議)	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より11名参加
23年1月29日	沖代会・役員会新年会	アークホテル博多ロイヤル	15名参加
3月05日	箭山会閉会式典・懇親会	中津商業高校・グランプラザ	15名参加
<b>箭山会福岡支部役員会</b>			
22年5月07日	総会準備打合せ	宝船	17名参加
6月22日	総会反省会及び今年度活動報告	雑魚屋	16名参加
7月18日	旅行打合せ・事務局選出	ジョイフル警固	14名参加
12月11日	総会会場選定・BF10号編集会議	ふく元	18名参加
23年1月29日	役員人選・ホームページメンテ等	アークホテル博多ロイヤル	12名参加

## 関東支部創立60周年記念総会開く

関東支部長 花水 正平 (39回生)

当支部は、昨年創立60周年を迎えました。戦後間もない激動の混乱期に、当支部を立ち上げて頂いた大先輩方の箭山会に寄せる熱い思いと苦勞が偲ばれ、感謝の気持ちで一杯になります。

さて、当支部のファイナーレを飾る「創立60周年記念総会」は、平成22年6月5日(日)日立金属「高輪和疆館」で、恩師の合林先生、母校の吉村学校長、本部の松永会長他役員、如水会役員並びに在京中津会花田会長のご出席を賜り、総勢62名が出席して、賑やかに開催しました。懇親会では、小林すみ子さん(40回生)手品と特別出演のシンガーソングライターあべ由紀子さんの「かぼす音頭」が披露されました。恒例のビンゴゲームでは、役員・幹事から持ち寄りの景品が渡され、カラオケ競演では、元気な歌声が響き、最後は名物の「河内おとこ節」の踊りの輪が広がり、最高に盛り上がり全員が笑顔で散会しました。しかし、当支部の現状は、会員の高齢化と転出による会員の減少が続く厳しい状況です。その対策として、如水会関東支部と6年前より新年会・忘年懇親会を合同で開催し、交流を深めました。それから、箭山会本部は如水会と対等合併し、平成23年4

月「中津東高等学校同窓会」となります。箭山会・如水会の両関東支部は、本部の方針に沿って「合併準備委員会」を設立し、合併に向け話し合いを進めています。平成23年9月11日(日)東京ガーデンパレスで「中津東高等学校同窓会関東支部」として、第1回の総会を開催します。

終わりになりますが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、関東支部会員の思いと願いを次のことばで送ります。箭山会に感謝——ありがとう！母校愛・絆・心そして出会い——世代を超え永遠に！



## 関西支部の現状報告

関西支部長 小倉 利幸 (44回生)

福岡支部の皆様、ご健勝でお過ごしのことと存じます。

いよいよ箭山会関西支部の総会懇親会も最後になりまして、昨年10月30日大阪市内のホテルで開催致しました。関西ではこれが唯一の年間行事でした。今回は恒例のキングレコード所属の末次恵子様のカラオケの

ご指導ご支援に加えまして、当支部にも役者が居られました。川内家は笑河内音頭の師匠であります川内(40回卒業生)にもご出席賜り、威勢よく賑

やかに河内音頭をご披露して頂きました。又、郷里中津及び尾張名古屋から、6名の方が特別に馳せ参じて頂きまして例年以上に盛り上がり箭山会最後を飾るにふさわしく本当に成功裡に終えました。

さて、4月から新生中津東高校同窓会がスタートして参りますが関西支部では統合の効果を期待の反面、現状からして一末の不安もあります。現時点で如水会関西支部の実態がよく分かりません。更に如水会との接点もなく今後の具体的な指針もありません。従いまして当支部では今後どのようにして取り組んでいけるかが大きな課題です。いづれにしても旧箭山会と旧如水会で力を合せて新生中津東高校同窓会の関西支部の集いの輪をせめて現状よりは大きくしていきたいと考えております。福岡支部の皆様のご健勝とご多幸をお祈りしております



## 北九州支部総会開く

北九州支部長 成重 欽吾 (46回生)

去る平成22年9月21日(土)、このみ倶楽部会場で、参加者約70名で「若返ろう、18歳に」のテーマで本部、福岡支部、如水会の役員と、会員の参加者により和気あいあいと楽しく開催された。出し物は、小倉祇園太鼓、銭太鼓、カラオケ、バナナの叩き売り、ビンゴゲームと、楽しい一日を、無事終えられたことに感謝申し上げます。

平成23年度の総会は、役員会での結論は、箭山会での開催に決定致していますが、如水会との役員会議を、5月中旬頃から合併に向かって話し合う予定で、8月9月頃には決まるかも、これからの、中津東高校同窓会への取り組みは、如水会と前進あるものと確信いたしています。今後とも、会員各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。



協賛広告ありがとうございます

箭山会に感謝...ありがとう！  
箭山会関東支部  
支部長 花水 正平(39回生)

箭山会 福岡支部  
支部長 大木 敦夫 (43回生)  
福岡城南区 電話：092-861-5053

# 中津商業高校同窓会「箭山会」

会長 松永 勇治 (46回生)

「ベストフレンズ」第10号発行、誠にありがとうございます。

箭山会福岡支部の日頃よりのご活躍に感謝し厚くお礼を申し上げます。箭山会最後の本部総会・懇親会が、平成22年11月20(土)にグランプラザ中津ホテルで「心」をテーマに各支部役員、母校関係者、恩師、如水会役員のご臨席を賜り270余名の参加者で盛大に開催されました。今年(54回生(昭和47年卒))が当番で、石井博明実行委員長を中心に当番回生25名と本部役員が一丸となり、総会・懇親会、イベントを行い、



無事終了することができました。これも皆様のお陰と深くお礼を申し上げます。今年の懇親会も、懐かしい恩師を招待して、生徒会が母校風景、活動状況をプロジェクターで紹介して、箭山会・学校・在校生が絆を深め、懇親会が大いに盛り上がり皆さんも感動されていました。又、昨年同様、総会前に本部・支部役員の合同会議で意見交換を行い、次のとおり本部より報告して、情報を交換しました。

- ① 本部と各支部の箭山会と如水会の合併の進捗状況
- ② 23年3月5日の最後の卒業式・閉校式と箭山会閉会式の参加要請及交通費支給の検討
- ③ 同窓会の閉会行事として説明内容
  - ・閉校に伴う最後の会員名簿の発行及び閉校記念誌の発行

- ・中津東高校、中津商業高校の跡地の記念碑と沿革碑建立について
- ・全国高校駅伝大会優勝碑(昭和46年12月)の記念碑を中津東に移転
- ・マイクロバスを中津東高校に引き渡し等
- ④ 23年11月に合併後初の中津東高校同窓会を行う予定



その他、たくさんのご要望・ご意見がありました。これからの運営に参考にしていきたいと思えます。中津商業高校は、大正5年6月に設立して95年の歴史と伝統を築き、平成23年3月5日に最後の生徒78名が卒業し、設立以来総数18,868名の卒業生を送り出して幕を降ろします。箭山会も卒業式当日の3月5日に閉会式を行い、如水会と23年4月1日に合併して中津東高校同窓会(仮称)となります。歴史と伝統のある中津商業と箭山会の名前が変わるのは、我々会員としてはとても寂しく偲びがたいものがありますが、過去を調べて見ますと専門学校(実業高校)は、その時代の経済と環境に左右され、母校も時の流れに逆らえず校名が現在まで6回変わっています。寂しさもありますが、これからは旧中津東校の戻ったと思い、同窓会、支部、学校の発展を考えて未来の向かって頑張りたいと思えます。福岡支部の合併については、大変と思えますが時間を掛けて一本になるようよろしくお願い申し上げます。最後に、福岡支部の発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈りして挨拶とします。



# 沖代会・新年会開催

稲尾 公朗 (40回生)

毎年1月開催で恒例となりました「沖代会」は日頃のご無沙汰を忘れて1年ぶり開催とは思えぬ雰囲気、和気あいあいと「うまい酒」を飲み交わし、有意義な一時を過ごす事ができました。

今回は中津市から守口澄良先生(41回生)の特別参加ありましたが、それぞれの方々の当日の都合があり、大多数の参加(15名参加)ではありませんでしたが、世話人にとっては、参加者の皆様と楽しく会話が出来た事で、現在の心身共に健康である事を改めて感謝する機会となりました。参加者の皆様有難うございました。厚くお礼申し上げます。

最後に長い間、沖代会会長を務めて戴きました渡邊一敏さんから会長辞任の申し出があり、1月29日開催の箭山会福岡支部役員会で久恒喜成さん(29回生)が後任に承認され、就任することが決定致しましたのでご報告致します。

渡邊前会長長い間本当に有難うございました。厚くお礼申し上げますと共に今後益々のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。



本部支部名	会長・支部長	所在地	事務局長	本部支部名	会長・支部長	所在地	事務局長
箭山会本部	松永勇治(46回生)	中津市	柷川貞夫(46回生)	北九州支部	成重欽吾(46回生)	北九州市	瀬口 巖(37回生)
関東支部	花水正平(39回生)	横浜市	宿利敏夫(36回生)	星窓会	山本幸夫(39回生)	中津市	宮瀬敏幸(52回生)
関西支部	小倉利幸(44回生)	大阪市	森重 武(39回生)	福岡支部	大木敦夫(43回生)	福岡市	渡辺 隆(43回生)

協賛広告ありがとうございます

祝！ベストフレンズ10号発刊  
箭山会長 松永 勇治 (46回生)  
中津市 電話：0979-32-0712

ニュードラゴン洋菓子店  
笠木 智恵子 (38回生)  
別府(流川店,東荘園店) Tel0973-24-6045

## 福岡北九州合同ゴルフ会

箭山会福岡支部行事の一環であります箭山会ゴルフ会も第24回(北九州支部と合同)を迎え、去る10月15日(金)宗像市の福岡国際カントリークラブ七又コースにおいて参加者は11名(3組)で10時27分気持ち良くスタート出来ました。当日は、暖かい天気恵まれプレイヤーにとっては最適な環境となり、それぞれに好プレイ、珍プレイを含む和気藹々の中で旧交を温める事が出来ました。競技方法は、18ホールズ・ストロークプレイ、ハンディキャップはダブル方式、ローカルルールはオール6インチとし、入賞は優勝、準優勝、をはじめ飛賞を含む多くの商品が準備され、表彰式および懇親会は、プレイ終了後宿泊先である神湊スカイホテル宴会場において実施されました。主な入賞者は次の通りです。

- 優勝者 荒川 員充(40回生) 75.8
- 準優勝 大木 敦夫(43回生) 75.8
- 第3位 末並 三生(37回生) 76.4

同スコアに付、年齢により順位決定

追伸 懇親会の席で会員の皆様が年々年齢を重ねて来て、参加者が減少の傾向にある状況であると報告致しました。出席者全員で話し合い



を致しました結果、現状維持で継続をする様、決定致しました。次回一人でも多く会員の皆様の参加を頂きます様お願い致します。

稲尾 公朗(40回生)



## 12年目の喜びと感謝

荒川員充(北九州支部・40回生)



此の度久方ぶりに優勝の声を聞いて嬉しさと感謝の気持ちで一杯です。思い起こせば平成10年6月7日、別府の豊岡CCで第一回目のコンペで優勝させて頂きましてから24回目12年経ちました。

当初は前日ホテルに泊まり、翌日プレーでした。忘れもしません、別府のホテル三泉閣で宴会後、同部屋でした森誠二氏、矢頭誠氏の両先輩と今は亡き矢野賢三氏達と遅くまでマージャンをして、しかも朝が早かったので眠たい頭を抱えて出かけたことを覚えています。条件は皆同じで、まだアルコールが残っていた人が多く、スコアもメロメロ

だったかな。現在のように、当日プレー当日宴会、翌日解散。このパターンはいつからそうなったのかは覚えていませんが、この方が良いでしょう。とにかく、ゴルフというスポーツはマナーが一番大切だと思いますが、同じ金を使うなら楽しくやらなきゃと思います。私に無理やりゴルフを教えてくれた元会社の先輩等は、本当に和気あいあい演歌を歌いながらコースを回ったものです。従って、ゴルフとはこんなものかと未だに悪い癖が抜け切れません。

今後も皆様方にご迷惑を掛けることが多いかと思いますが、どうか末永くかわいがって下さい。ではまた、今年皆さんと笑顔でお会いできることを楽しみにしております。最後にこの会の発足以来努力されてこられた代々の幹事さんたちに感謝いたします。

## 「人生とは限りなく謙虚に学びたい」

中野 久米夫(52回生)

定年後一年となった私です。仕事に明け暮れた40年弱ではありますが、現在は子供達もそれぞれの家庭を持ち孫もおり、年2回我が家へ集っての楽しい一時を過ごしております。会社生活も終わりに近づき、考えさせられることは「定年後の生活」であります。会社勤めでは予定がぎっしり入り、ともすればスケジュールが重なり、調整しなければならないことも度々でしたし、余暇を楽しむことなんかは考えることはありませんし、仕事優先での生活に没頭して参りましたが、又、会社人生でも多くの方々から色々なことを学んだ人生でもありました。諸先輩もこのような生活を送られていたと察します。会社の中で本当に退職後の付き合い出来る人がどの位いるのか考えた時、両手の数を少しオーバーする人しか思いつかず、又、その人達は全国へ散らばっていたりして、退職後の付き合いで毎日の生活の中で楽しみではありません。又、他の一つでは「箭山会」と考えています。先般、箭山会

の「雲仙旅行」に参加させて頂き、幹事の城戸崎先輩、相部先輩を始め、諸先輩には大変お世話になり、楽しい一時を過ごさせて頂きました。ここでも新たにお会いした方々との出会いあり、その中で諸先輩より退職後の過ごし方のご指導も頂きました。話題の中で趣味であっても、常に先を見つめ、やり遂げる方は、みな若々しく、静かな中に燃えるようなエネルギーをお持ちです。私も先輩達に習い、学んでいきたいと思ひます。そして、限りなく学ぶことのある人生は、なんと素晴らしいことかと思ひます。今後は人との出会いを大切にすることと更に「家庭サービス」「地域への貢献」も思うように出来ませんでしたので今からでも「マネ」が出来ると思ひます。



協賛広告ありがとうございます

### 箭山会福岡支部ゴルフ会

顧問 久恒 喜成 (29回生)

福岡百道浜 電話：092-831-2989

### 祝！ベストフレンズ10号発刊

顧問監査 吉井 陽二 (37回生)

福岡平尾 電話：092-531-2024

## 雲仙・島原一泊旅行

相部喜久代 (50回生)

初秋漂う10月1日(金)～2日(土) 箭山会福岡支部は雲仙・島原一泊旅行へと出かけた。総勢22名の内、本部そして北九州支部や如水会からもご参加を頂き、総会以上の賑やかさと笑いに包まれながら、バスは9時半博多駅前を出発する、向かうは天然かけ流し温泉と70種以上の豪華バイキングが自慢の「雲仙みかどホテル本館」である。途中、日本で一番新しい溶岩ドームの新山をバックに記念写真を撮り、自然の脅威を肌で感じながら島原地域の観光を一部終え、樹齢800年という巨大銘木の門をくぐる。“木造建築”最大級のバイキングレストラ



ンで柔らかな特選牛やぜいたくな鮮魚をたらふく満喫し、全員カラオケで二次会場は更に盛り上がりを見せた。何と言っても旅行の楽しみは温泉・・・その“みかど湯”に心までたっぷり浸りみかど劇場で、ものまねスターに大笑いするなど日常を忘れ愉しんだ。翌日、島原城を車窓から眺め、湧き水が通りの中央

に流れる武家屋敷跡や1991年の大火砕流でコンクリートと鉄骨だけになった大野木場小学校跡、そして土石流被害家屋保存公園も見学した。ここでも火砕流の怖さや悲慘さが胸の奥まで伝わってくる想いだった。そのほか大小の岩の間から白煙が立ち上り硫黄の匂いが漂う“雲仙地獄めぐり”に“ビードロ美術館”にも足を延ばし、雲仙・島原の観光スポットを全て巡りつくしたような旅であった。又、今年の日帰り旅行から一泊旅行にした事で箭山会の「絆」がより一層強まり例年以上の素晴らしい旅行になった事はいうまでも無い。それは解散時のいっぱいの笑顔が語ってくれたから・・・。  
\*次年度も『行って良かったね! 楽しかったね!』という場所を提案致します。是非多くのご参加を心からお待ちしています。



## シャンソンとの出会い

市丸幸子 (38回生)

定年を控えたある日シャンソンの発表会に誘われ出掛けたのがそもその始まりです。音楽は聴くのも、歌うのも大好きでしたがシャンソンは全く縁のないジャンルでした。それが何如か、未知の分野シャンソンへと気持ちが繋がって行ったのです。これもひとつの出会いでしょうか、NHKシャンソン教室で、



(関先生)

関雅子先生のご指導を受けて、早いもので十年以上の月日が流れました。シャンソンだけでなく、カンツォーネ、映画音楽等、ピアノ、ギターの伴奏でレッスンを受けています。

“シャンソンは三分間のドラマ”との先生の言葉をかみしめ、それぞれの愛と、恋と、人生のひとこまを、気負わず、自分らしく、楽しみながら歌っていらいたいな・・・と思っています。七月のパリ祭コンサート、十二月のクリスマスコンサートには、同窓の方々が応援に来て下さり、何より心強く嬉しく思っています。これからも“トシ”にもめげずいろいろと、チャレンジして行きたいと思います。



協賛広告ありがとうございます

箭山会 同窓会でお待ちしています  
顧問女性部長 市丸 幸子 (38回生)  
福岡香椎浜 電話：092-671-2775

(有)江副商店 畳・襖・障子張替  
ごろ寝サポート 江副 節子 (41回生)  
福岡原 電話：092-871-5253

# 「～史上最多・前人未到の69連勝！大横綱・双葉山～」

梶屋 孝太郎 (33回生)

ひときわにぎやかだった大相撲九州場所も終わり12月になりました。私が小学生の頃、大ファンだった人気力士双葉山を思い起こして12月18日大分県宇佐市にあります双葉の里に行き参りました。今年最後の相撲も終わった。今回の話はなんとと言っても、白鵬が、世紀の大記録「双葉山の69連勝」を超えるかということ。双葉山の時代は、今と違って、年2場所制（当初一場所11日間から、双葉山人気で13日・15日間と変遷）、故に前頭3枚目の時から連勝を開始、横綱になって40連勝を超え、69連勝するのに3年を要した。当時、この双葉山の取り口を研究するには、ニュース映画を観るしかなく、それを繰り返し見た笠置山が「彼の右目が見えてないのではないか？」暴露したが、双葉山は「目に頼らないで身体が敵の動きを感じる」と言って気にかけなかったと言う。そして彼の相撲の特徴として言われたのが「後の先」



(ゴのセン)である。「後の先」というのは、「後から立って、先に良い体勢をつくる」まさに「横綱相撲」であったのである。それを出来るようにさせたのは、彼が若い頃に家業の手伝いで米俵を担いでいたので、足腰を鍛えられ、受けて立つても、すぐさま低い姿勢と強い足腰で良い体勢をつくり、相手に付け入るスキを与えなかったという。そして、この双葉山の70連勝を阻んだのが、当時前頭3枚目・24歳の「安芸の海」である。安芸の海は立会い鋭く行き、双葉山がすくい投げにきたところを外掛けで対応し、見事に破ったのであるが、対戦後、双葉山が「いまだ木鶏たり得ず」（木鶏とは、中国の莊子に出てくる・何事にも動じない闘鶏が木で作った鶏のようであるというさま）と、自分の心に隙があつたと認めたとか。この双葉山を尊敬してやまないのが白鵬であり、今さかんに双葉山の昔の映像を見て、研究に余念がないという。そして「後の先」を相撲道の鏡として、自分もそうありたいと願っているという。いま白鵬が「後の先」を目標にしているということは、日本流の「横綱を目指している」とのことで、



好ましいと思う反面、彼が69連勝を破れば、日本古代のスポーツ「相撲」の大記録も、やはり外人に破られるのか？と寂しい感じもするであろうと、大変複雑な感情であった。できる事なら大分県出身の力士に破ってもらいたい。しかし姿勢が高く、そして土俵際まで一旦押された稀勢の里が、体勢を立て直し、その後は一気に突っ付けた。すなわち「後の先」をやったのは、稀勢の里だったようにみえる。私の見るところ、白鵬は必死に双葉山の取り口を研究していながら、「今日も勝たねばならぬ」との気持ちから「早く、高く立ってしまった」という「焦り」があつたように思えた。「昭和の角聖・双葉山」は、天国で取り口をみて、「俺の記録を破るには、いまだ早い、また一からやり直せ」と言っている、のでないだろうか？本名・穂吉定次（あきよし さだじ）。明治45年（1912）宇佐市下庄布津部に生れる。天津小学校卒業後、昭和2年に16歳で立浪部屋に入門。持前の粘り強さで昭和11年より勝星を続け、前頭から横綱まで一気に登りつめ、昭和14年、前人未到の69連勝の偉業を成し遂げた。双葉山は、幼少の頃に右手小指の先を失い、右目を失明したものの、不屈の努力と強い精神力で相撲に精進し、空前の相撲ブームを巻き起こした。引退するまで日本中の人気を博し、引退後は時津風理事長として角界の近代化を押し進めた。資料展示室 木造瓦葺 193.77㎡。双葉山生家の手前に、資料展示室・休憩所があります。ここでは、英雄双葉山の行跡をたどり、数多くの貴重な資料を展示しています。



「稽古は本場所のごとく、本場所は稽古のごとく」「相撲ぐらい怪我をしないスポーツはない」「相撲は体で覚えて心で悟れ」「勝負師は寡黙であれ」「一日に十分間だけ精神を集中させることは誰にでも出来るはずだ」  
双葉の前に双葉無し、双葉の後に双葉なし  
梅檀は双葉より芳し、梅花は蕾めるに香りあり



## 「川柳」

横松 眞一 (47回生)

- ・ 少しずつ世間あざむく増毛法
- ・ 美人の湯行って来たんじゃなかったの
- ・ いつまでも来るとするな給料日
- ・ 俺シラガ妻はムラサキ子はチャイロ
- ・ 段差ない所もつまずく六十歳
- ・ 写メールの孫を見せ合う同窓会



協賛広告ありがとうございます

日本食品(株) あらびき大将  
 相談役 梶屋 孝太郎 (33回生)  
 古賀市青柳 電話：092-942-6100

西日本工業大学 ソフトテニス部  
 監督 守口 澄良 (41回生)  
 吉富町 電話：0979-22-7204

## マレーシア便り その6 「マレー王族の結婚式」 ロングライター 柴田 裕子 (43回生)

2010年12月18日、いけばなインターナショナルKL支部会長のPaleneさんの長男の結婚式に招待されました。Paleneさんは金髪、碧眼の白人ですが、ご主人はマレー人でヌグリ・スンビラン州のスルタンの一族すなわち王族です。マレーシアは13州で構成されていますが、うち9州は元来王国で現在でも王様（スルタン）は州の憲法で選任されます。マレーシアの国王はその9人のスルタンの中から合議制で選任され、5年毎に交代するという世界でも例を見ない珍しい方法を採用しています。

招待状は箱に入っていて金文字でマレー語と英語で印刷され、表紙裏には結婚を祝福する詩が書かれていました。服装の指定はLounge suit。私は着物で出席しました。お祝いは、気持ちだけでいいのだということでしたのでRM50(1,300円ぐらい)を日本の結婚祝いに使う熨斗袋に入れて持参しました。2日間ご自宅で開催された結婚式の2日目に参加させていただきましたが、午後7時半から。出席者は飲み物をいただき三々



五々歓談しながら席に着きます。8時ごろヌグリ・スンビランのスルタンご夫妻が到着。花婿と花嫁が、揃いの黒の正装に身を包んだ王宮の職員たちに付き添われて一段高いところに設けられた席に着きます。

二人の服装は揃って黄色(王家の色)のマレー服です。スルタンが二人の前に進み出て、用意されていた香りの良い花びらを二人の手のひらに撒き、小さな枝で聖水を二人の手のひらにふりかけ、二人がスルタンの手を握って挨拶をします。後は両親を初め親族たちが次々に同じことをして式は終わり。お祝いのマレーダンスがダンサーたちによって披露される中、参列者には食事がサブされます。花婿の5人の兄弟姉妹

次々に花嫁を家族に迎える喜びを述べていたのには家族の絆を大事にする家風がうかがえました。最後に花婿と父親が挨拶をします。終わった後別室に移られたスルタンご夫妻に拝謁することを許されましたので、私も自己紹介してご挨拶させていただきました。12月29日になってまたPaleneさんから1月1日の結婚披露宴に招待したいというメールが入りました。今回はご夫妻の名前でなくPaleneさんとY.M.Tungku Roy Xoxoとなっています。不審に思ってマレーの友人に尋ねると今度は花嫁側の招待なのだということです。Y.M.Tungkuというのは同じく王族を表します。今回の服装の指定はBollywoodとなっています。花嫁の母親がパキスタン人なのでインド式服装でということでした。私は金の刺繍入りベスト付紫のパンジャビ・スーツで出席しました。今回のお祝いは和紙を張った小さなお茶缶2つにメッセージを添えました。場所は都心の式場レストランで午後7時45分から。8時30分ごろ大勢の親族に付き添われて花嫁、花婿が入場し、会場の片側に設けられた壇上に座ります。今回は二人ともパキスタン式の華やかな服装です。まずお祝いのダンスがあり、参列者は二人の前に座って式の見届け人になることを促されましたので、私も行って座りました。両親初め親族たちが次々に用意された花を二人に渡し、枝を振るって聖水を撒き、二人に菓子を食べさせます。それで式は終わり、二人と双方の両親は会場の反対側に設けられた席に着き、ダンサーたちがダンスを披露し、参列者は食事をいただきます。最後は花嫁、花婿を中心に皆が踊りに参加し、Bollywood (Hollywoodに対してインドなのでBollywood) らしくにぎやかに盛り上がっていました。



## 俳句

- 炎天を来てまず汗を見舞妻
- 夜回りのナースが告ぐる夏の月
- はた神酸素かみなりに匂ひありにけり
- 迎火やがまん強さは母ゆづり
- 管を抜く一つ二つと涼新た
- 窓に顔寄せて無月の在りどころ
- 寝静まる鬨病の檻星月夜
- 草の花看護師の名はずぐ忘れ
- 退院の祝に届く新豆腐
- 秋の雨母の一周忌を病めば
- これからは酒断つ余生ちぢる虫こおろぎ
- 友来たる看取りの妻へ秋の薔薇



## 渡辺 隆 (43回生)



闘病の記 渡辺たか志

一生の一大事は、誕生の時と、死ぬ時。今年はそのに等しい大病からの生還であった。正確にはまだ生還と決め付ける訳には行かないが。かねて患っていた潰瘍性大腸炎が、がん化し、大腸を全摘出する手術となった。近年の医療技術の進歩は画期的で腹腔鏡による無輸血の手術で、術後十日もすれば退院しよといわれた。だが、摘出の臓器のリンパ腺からがん細胞が見つかり、転移の危険性ありとの診断で抗がん剤を打つことになる。最先端医療の外来化学療法による通院自宅療養の日々が来春まで続く。入院中の病棟で、昼間は戦場の病棟も夜は寝静まる。病棟は悲喜こもごも、闘病の檻と悲しくも納得した次第である。

協賛広告ありがとうございます

株やず企画 不動産取引・管理  
代表取締役 矢頭 眞一 (44回生)  
福岡天神 電話：092-741-2121

箭山会 福岡支部釣クラブ  
監査 井上 慎一 (37回生)  
福岡周船寺 電話：092-807-6347

# 保護司活動を通じて

栴田義富（保護司）44回生



～社会を明るくする願いを胸に～

平成23年4月、中津商業高校は、新生「中津東高校」に生まれ変わります。これに基づき、伝統ある同窓会「箭山会」も新たな同窓会になることでしょう。この記念の年に寄稿するにあたり、ちょっとお堅い話などを添えて転生することにしましょう。実は、我らのふるさと中津には、何と日本の更生保護の創始者と言われる方が居たのです。福澤諭吉翁の近くに住み、同時代を生きた川村矯一郎氏であります。明治13年、川村氏は篤志家金原明善氏と「静岡勸善会」を設立、後の出獄人保護会社となりました。川村氏の顕彰碑が建立され、川村家代々の墓がある



中津市内下正路の安全寺境内に完成しています。ふるさとの、いや日本の誇りとする川村矯一郎氏に思いを寄せて、今回は保護司についてご紹介し、私のボランティア活動の一つをご理解頂けたら幸いです。さて、皆様は保護司ってご存知でしょうか？保護司の身分や、

その活動内容などについては随分と長い間「稲匠の士」とか言われていたようで、その姿や活動状況などは全く秘すれば花的な存在だったようです。従いまして、私も拝命される前は勿論のこと、はっきり言って全く無知でしたので、帰郷のついでに中津市にある安全寺を訪ねて、川村氏の更生保



護活動を勉強してみました。「保護司は民間のボランティア」とよく言いますが、「保護司はれきとした国家公務員」です。但し無給（保護司法第11条）で、掛った費用は実費弁済という形で精算されます。保護司は推薦を受けて法務大臣から委嘱され（同3条）定められた保護区に置かれ、定数も全国で52,500人を超えないものとする（同2条）と定められています。保護司戸は？そして保護司の活動を理解する上で、保護司法第1条に定められている「保護司の使命」を紹介しましょう。

第1条 保護司は、社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与することを、その使命とします。とあります。要約しますと、保護司は無給の国家公務員で、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティア、と言ってもよいでしょう具体的な職務は次の3点で、保護観察所観察官の指示に従い、観察官との協同でこれを遂行します。①保護観察・・・犯罪や非行をした人に対しての、自立更生を支援する。②生活環境調整・・・刑事施設から保釈後の、生活環境を調査・調整する。③犯罪予防活動・・・社会を明るくする運動。地域・学校等との連携による。保護司は、罪を犯し保護観察処分を受けた人、執行猶予の判決を受けた人、あるいはその家族の方々等と接することになるわけですが、その職務の関係から、秘密を尊重し、その名誉保持に努めなければならない（同第9条2項）と「秘密義務」が規定され、これを守り職務を遂行しなければなりません。非常に大変な無給の国家公務員、つまりボランティアですが、趣味でスケッチや心絵を描いたり、大道芸で汗をかいいたり、恥をかいいたりして気分を変えています。保護司仲間には知名士や経験豊富な方々がいっぱいおられ、その職務遂行もまた自分の人生の糧ともなっているものです。そして（まだ本当の経験はしていませんが）担当した方々が更生自立して、家族共々幸せをつかまれることを喜びとされているところです。ほんの少しでも周りが、地域が、そして社会が明るくなりますように。



## 編集後記

城戸崎 重夫  
(47回生)



ベストフレンズNo10号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo 10号を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。

ベストフレンズは箭山会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山会の情報発信元となり、更に充実した機関紙として数多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

経営のパートナー 税務・経理支援  
代表 城戸崎 重夫 (47回生)  
福岡東区 電話：090-4581-7676

清瀧 環境と健康を考える  
代表者 瀧上 憲司 (41回生)  
筑紫野二日市 電話：092-926-0070